

スポーツのチカラ まちのミライ



2030北海道・札幌オリンピック・パラリンピック冬季競技大会が実現すると、私たちの街・札幌はどのような姿へと変貌を遂げるのでしょうか？
女子コンバインド(ノルディック複合)競技で活躍する双子姉妹の葛西優奈さん・春香さんにお話を伺いました。



空を舞い雪原を駆ける競技の魅力
夢は地元開催の五輪で金メダル

女子コンバインド(ノルディックスキー複合女子)
SNOW JAPAN 2022/2023 強化指定選手
左: 葛西 優奈さん 右: 葛西 春香さん
2004年生まれ、札幌市出身。9歳から札幌ジャンプスポーツ少年団でスキージャンプをはじめ、2017年よりコンバインドを本格的に開始。東海大学付属札幌高等学校在学時の2020年ノルディックジュニア世界選手権に姉妹で日本代表入り。現在は早稲田大学スキー部・日本ビールに所属し、昨年W杯ではともに二度表彰台に登る。

取材協力: 大倉山ジャンプ競技場

コンバインドならではの魅力

女子の冬季五輪正式採用を目指して

(優) 9歳から地元の少年団でスキージャンプをはじめ、女子コンバインド(ノルディック複合)の公式試合がスタートした2017年から本格的に参戦しています。コンバインドは異なる2種類の総合力を競う複合競技で、レースの駆け引きや最後まで何が起るか分からない面白さが魅力です。

(春) 女子コンバインドが冬季五輪の正式種目となり、金メダルを獲得ことが子どもの頃から大きな夢。残念ながら、2026年冬季五輪での採用は見送られてしまいましたが、2030年こそは採用されると信じています。今はよりよい練習環境を求めて地元を離れ、海外を転戦しながら競技力向上に励んでいます。

北海道・札幌冬季五輪の金メダルを
日本の女子コンバインド発展の契機に

(優) コンバインドはヨーロッパでは人気スポーツのひとつで、オーストリアでは車道にクロスカントリーの専用コースがあるほど。日常生活に溶け込んでいて、競技に親しみやすい環境が整っています。札幌の子どもたちも体験会や大会の観戦を通じて、もっと競技の面白さを知ってもらえたらうれしいです。

(春) 国内の女子コンバインドはまだ選手層が薄いので、一緒に取り組む仲間が増えて、競技全体が盛り上がりつつ欲しい。そのためにはまず自分たちが世界の舞台で活躍して、競技の認知度を高める必要があります。2030年札幌冬季オリパラが実現したら、地元開催の大舞台で金メダルを獲得したい。そのための一歩として、2023年2月に開催される世界選手権で最高の結果を残せるよう頑張ります！

問い合わせ先

札幌市スポーツ局招致推進部調整課 ☎011-211-3042



食や自然など多くの魅力に恵まれた
「笑顔になれる街」さっぽろをイメージしたロゴです

問い合わせ先

札幌市総務局広報部広報課 ☎011-211-2036